

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	コミュニケーション支援事業	所管	保健福祉部 障害福祉課
			TEL 2998-9116

事業の目的 (何の為に 行うか)	聴覚障害者等の外出等に伴い、コミュニケーションをとる際の補助として手話及び要約筆記者の派遣を行う。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	聴覚・音声及び言語機能障害者	対象とした数	641	人
		実際に 利用した数	2,332	人

活動の内容	(何を したか)	事業の実施を社会福祉協議会に委託した。 (派遣の利用申請等) 1手話通訳の派遣を希望するものは、3日前までに、市に申請する。 2市は、派遣の要否を決定し、通知する。 3市は、派遣を決定したものに手話通訳者を派遣する。								
		活動実績	項目名	通訳者等派遣件数	819	項目名	電話通訳	597	項目名	来所相談
				----- 単位 件			----- 単位 件			----- 単位 件

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	22,605	22,605	24,484	72.2

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	事業の総実績	通訳者等派遣件数+電話通訳+来所相談	2500	2332	93.3
			----- 単位 件	----- 単位 件	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	040300	TEL	2998-9116
事業コード	コミュニケーション支援事業	担当	保健福祉部 障害福祉課			
040320		グループ	総務担当			
開始年度		平成 4 年度	→	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令				
	分野別計画・指針	障害者計画			障害者自立支援法				
	関連・類似事業				コミュニケーション支援事業実施要綱				
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かになで健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	4節 障害者福祉	中柱	2 福祉施策の充実	小柱	(2)在宅福祉サービスの充実
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 26 位		・実施計画における位置づけ…				H19	<input type="radio"/>	H20
行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
コード	ユニバーサルデザインの推進	コード							
1311									
事業開始の背景	聴覚障害者等にコミュニケーションの保障を行い、社会参加の促進を図ることを目的に事業が開始された。平成19年度から障害者自立支援法の「地域生活支援事業」として位置付けられた。								

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)								
	聴覚障害者等の外出に伴い、コミュニケーションをとる際の補助として手話及び要約筆記者の派遣を行う。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方					
	聴覚・音声及び言語機能障害者			事業の延べ利用件数					
	対象数	単位	平成 18 年度	652	人	利用数	単位	平成 18 年度	2,128
		平成 19 年度	641	人			平成 19 年度	2,332	人
事業の具体的な内容及び実施方法									
事業の実施を社会福祉協議会に委託した。(派遣の利用申請等)									
1手話通訳の派遣を希望するものは、3日前までに、市に申請する。									
2市は、派遣の要否を決定し、通知する。									
3市は、派遣を決定したものに手話通訳者を派遣する。									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
平成19年度中に改善した点						
事業の利用者の増加を図るため、聴覚障害者団体等への利用者説明会を行った。						

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		20,307	22,605	22,605	
	決算(見込み含む)		18,889	22,605		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)			
	正規職員人件費		0.27 人 2,484	0.20 人 1,879	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。	
	公債費					
	事業費合計		21,373	24,484		
	財源内訳	一般財源		7,207	7,530	5,651
		国・県支出金		14,166	16,954	16,954
		受益者負担金				
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)		63.3	72.2			
利用数一単位あたり(単位:円)		10,043.7	10,499.1			

⑥指標	項目名	計算方法	単位		H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	通訳者等派遣件数	実績による	件	/	768	819	900	1
		電話通訳	実績による	件		367	597	650	1
		来所相談	実績による	件		993	916	1000	1
	成果分析	事業の総実績	通訳者等派遣件数+電話通訳+来所相談	件	目標値	2300	2500	2550	
実績					2128	2332		実績値の拡大を図る1	
%					達成率	92.5	93.3		実績値の縮小を図る2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		委託業者(社会福祉協議会)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	派遣者(手話通訳者・要約筆記者)については、年々低減化し、高齢化するなど、派遣事業の担い手が不足気味である。また、要約筆記については、新たな筆記方法(パソコン方式等)の導入も検討が必要である。				
一次評価	今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)		時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定	派遣者の養成を行っていくための計画を策定する。	来期に計画実行できるまで。		平成20年末まで
	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由					
本事業は、事業開始当初より障害者等のコミュニケーション支援に係る重要な施策と位置づけられているが、さらに、障害者自立支援法の施行後は、地域生活支援事業として事業の充実を図っていく必要がある。					
評価日		平成20年4月15日	記入者職氏名		課長 森田 昇

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性							
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
一次評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
評価理由	評価日							

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	施策の体系			施策の方向	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	2155
	基本目標	2子どもたちが心豊かに育つためのゆとりある暮らしを支えます			
	主要課題	1すべての子育て家庭への支援			
施策の方向	5障害児施策の充実				